

講義コード	1193	科目区分	専門教育科目(選択、子ども生活学)
(フリガナ)	ソウダンシエン	(フリガナ)	ひろせはるじ
授業科目名	相談支援	担当教員名	廣瀬春次
英文授業科目名	Counseling and Support		
基準年次(開講期)	3年生(後期)	履修形態	選択(保育士、幼稚園教諭必修)
曜日/時限/講義室	金曜日/4時限/保育実習室		
授業の方法	講義・演習	授業の方法 (詳細情報)	講義・演習中心
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	相談、子ども支援、保護者支援、子どもの権利条約		
授業概要・目的	育児・保育現場における相談の意義及び相談支援の視点を理解し、支援ニーズを把握するために用いられるアセスメントについて学び、支援技法について理解を深める。それをふまえて、実際の支援現場において用いることができるような支援技術を体験し身につける。また、実際の現場で起こったケースを取り上げ、事例に学ぶとともに、個別に支援方法を考えグループディスカッション等を通して他者の意見を参考にしながら自分の考えを深める。		
到達度評価の 評価項目	①相談支援の意義と原則について理解する ②子ども・保護者支援に必要なアセスメント、支援技法等に関する理論的背景を理解する。 ③保護者の抱える育児不安等の支援ニーズを知り、実際の支援方法を理解する。 ④現実に教育(保育)現場で起きているさまざまな問題を知り、援助の実際について理解する。		
授業計画			
第1回	オリエンテーション 教育(保育)現場における相談の意義		
第2回	支援の視点 子どもの権利条約		
第3回	子ども支援・保護者支援の支援ニーズの把握に関する基本理論① アセスメントの考え方		
第4回	子ども支援・保護者支援の支援ニーズの把握に関する基本理論② さまざまなアセスメント		
第5回	子ども支援・保護者支援の支援技法に関する基本理論 コミュニケーション、保育技術と関連して		
第6回	子ども支援・保護者支援の支援技法体験 事例検討、ロールプレイ		
第7回	各種相談機関(地域資源)との連携 相談支援の展開と連携		
第8回	各種相談機関(地域資源)との連携の実際 施設別事例検討		
第9回	現場での支援のための方法の基礎① 支援ニーズ把握から支援計画の立案まで		
第10回	現場での支援のための方法の基礎② 当該児に対する支援・クラス集団に対する支援		
第11回	育児現場における保護者支援の実際 保護者をめぐるさまざまな問題		
第12回	育児現場における問題と支援の事例① 育児不安		
第13回	育児現場における問題と支援の事例② 幼児虐待		
第14回	育児現場における問題と支援の事例③ 社会・情動の発達や認知・言語的発達に関わる問題		
第15回	育児現場における問題と支援の事例④ 生活習慣に関わる問題		
教科書・参考書等	藤崎真知代・本郷一夫・金田利子・無藤隆(編著) 『育児・保育現場での発達とその支援』 ミネルヴァ書房		
授業で使用する 機器等	特になし		
予習・復習への アドバイス	保育園・幼稚園等に関する最新の動向に気を配り、保護者支援等に関するニュースに関心を持つようにしてください。		
履修上の注意・ 受講条件等			
成績評価の基準等	授業中の小レポート等の提出物、発表などの授業参加、試験の結果などから総合的に評価します。		
メッセージ	相談支援には、その理解と技術のほかに、基本的な「聴く態度」が重要です。授業においても「聴く態度」で臨んでください。		
オフィス・アワー			
その他			